

紙のせんいで ちぎり絵を作る

しらべたいことがわかるような
タイトルをつけよう。

年 組 名前 ()

なまえをわすれずに書こう。

きっかけ

どうしてしらべようと思ったのか、
きっかけになったことを書こう。

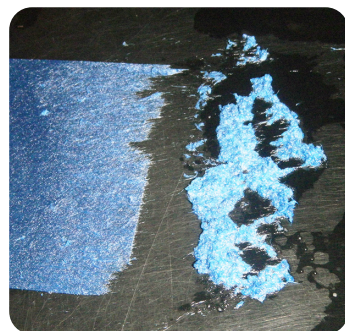
紙を細かくバラバラにしてみたら、
小さな糸のようなものが集まって
できていることが分かった。

いろいろな紙を細かくして、ちぎり絵を作ってみようと思った。



じっけんのやり方

つけたものや、しらべるやり方を
書こう。絵やしんもつかうと
わかりやすいぞ。



お皿の中に水にのりをとかしたものをいれて、
好きな色の紙をしばらくひたしてやわらかくする。
紙がやわらかくなったら下じきの上のにせて、
手や歯ブラシなどでそっとちぎっていく。
ちぎった紙を画用紙の上にうつして絵をかく。

けっか

じっけんのけっかだけを書く。
表やグラフ、しんをつかうとわかりやすいぞ。



きれいなちぎり絵ができた。
絵の上から水でといたのりをぬったら、
紙ははがれなくなった。

わかったこと

けっかからわかったこと、かんがえた
ことを書く。よそうとちがったときは、
どうしてそうなったのかかんがえてみよう。

紙は、小さな糸のようなせんいでできている。
バラバラにしたせんいをはり合わせたら、
新しい1まいの絵を作ることができる。

まとめ

けっかとわかったことをまとめて、
つぎにしらべてみたいことを書こう。

紙の色やしゅるいによって、せんいにちがいはあるのだろうか。
いろいろなしゅるいの紙をバラバラにしてちぎり絵を作り、
できあがった様子をくらべてみたい。